

Gallery PARC

GRAND MARBLE Gallery PARCが移転。 2フロアでの展開で様々なクリエイションを発信

京都をベースに新たな文化創造・発信に取り組むグランマールが2010年に活動を開始した
GRAND MARBLE Gallery PARC(グランマール ギャラリー・パルク)は、2017年8月に三条・御幸町から離れ、室町・六角に移転。
新たなスペースをベースに、これまで同様、若いクリエイターを中心とした多様な展覧会開催で、京都のクリエイション活動を刺激してゆきます。
アートの社会へのアウトプットの場、多様な表現のブラッシュアップの場となるよう、ギャラリー・パルクでは今後も様々な展開に取り組めます。



室町通、六角通の交差点北東ビルの2~4階。京都芸術センターから北に徒歩2分。ギャラリー巡りをするアートファンにうれしい立地。

information
ヤマガミユキヒロ
2018年4月15日までオーストラリア・ビクトリア国立美術館でのトリエンナーレに出品。佐賀県庁展望ホールで1年間開催される「アート県庁プロジェクト『星空のすいぞくかん』」に出品中。



「air scape / location hunting 2017 : ヤマガミユキヒロ」は、2017年10月10日~11月5日開催された。

撮影: 渡生田兵吾

オープニング展はヤマガミユキヒロ 「air scape / location hunting 2017」

鉛筆で丹念に描いた風景に、同じ視点から撮影した映像をプロジェクターで重ね、絵画の中に、うつろう光や流れる時間を映しこむ作品をつくるヤマガミユキヒロ。「東アジア文化都市2017 京都」の開幕式典ではプロジェクションと能とのコラボレーション作品「Inoh play-TAMURA」を上演し、好評を博した。Gallery PARCのオープニング展では、日本各地を描いた20点以上のドローイングのすべてにプロジェクションをする展示を2階に。4階には六甲山からの眺望など「空」に注目した作品を展示。それぞれ朝から夜までの時間軸を同期させているため、観客は別の場所・異なる時期に制作した作品が時間によって繋がる体験をした。

観ること、伝えることに繊細に向き合う「保存修復」という仕事 朴善化展 2018年2月9日(金)~2月25日(日)

朴善化は、京都市立芸術大学大学院博士過程で保存修復を学び、中国、朝鮮、日本の絵=東洋画、特に韓国の文化財の模写制作を続けている。模写は、それを描いた絵師の技をなぞり、当時の素材を求めて先人の文化に寄り添う営み。人の手による緻密な模写は、過去の記録でありながら、写す作家の体を通して現代の記憶としてよみがえる。時空を超えて観ること、そして文化を紡ぐこと。濃密な行為としての模写を再発見する。



「世尊掛佛幀」
H98.2xW54cm 2017年
韓紙、膠、天然岩絵具、緑青、辰砂、24金監、
藤脂綿など

Gallery PARC Gallery PARC 2018 年前半のスケジュール

GRAND MARBLE

1月5日(金)~1月28日(日) 友枝望 展(インスタレーション)
広島在住の友枝望の個展。日用品を素材として、PARCの空間性、場所性を活かしたインスタレーションを展開。

2月9日(金)~2月25日(日) 朴善化 展(絵画)
上記記事参照

3月2日(金)~3月18日(日) 薬師川千晴 展(絵画)
独自の絵画への思考を個性的な造形で展開させる薬師川の個展。PARCでは3度目となる。



3月23日(金)~4月8日(日) 神馬啓佑 展(絵画)
身体的動作や実際にあった体験への感受性を、「感触」などを媒介

に掘み取れる形で絵画に展開する。

4月13日(金)~4月29日(日) 澤田華 展(写真)
「写真新世紀展 2017」で優秀賞を受賞するなど、注目を集める澤田華による個展を、「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真祭2018」の開催時期に合わせて開催。

5月4日(金・祝)~5月20日(日) 守屋友樹 展(写真)
イメージと物質を持つ情報の在り方への興味から写真作品の制作・発表をおこなう守屋の個展。PARCでは2度目となる。



●京都市中京区烏帽子町502
2F~4F
Tel. 075-231-0706
Fax.075-231-0703
<http://www.galleryparc.com>

地下鉄烏丸線「四条」駅・阪急京都線「烏丸」駅22・24番出口より徒歩7分。
地下鉄烏丸線・地下鉄東西線「烏丸御池」駅より徒歩7分。
11:00-19:00(金曜日は20:00まで) 月曜休
詳しいスケジュールはWEB参照



※展覧会のタイトルは「ずれも仮です。内容、日時など予告なく変更する場合がございます。」

Radio

MAKOTOと和紗、京おんなの歌づくり

MAKOTOさんがナビゲートを務めるラジオ番組「Sweet' n marble lovers」。
マンスリーゲストの和紗さんは京女、シンガーソングライターという共通点がある親しい間柄。
先頃、新譜を発表した2人の「歌づくり」について聞きました。

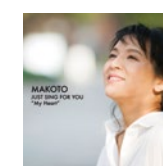


MAKOTO

聴いた人に、ほっこりしてもらえる歌を

2017年にリリースされたMAKOTOさんの新譜「Just Sing For You vol.1『My Heart』」は全6曲のカバーアルバム。ピートルズの『Let It Be』に始まり、『My Favorite Things』『What A Wonderful World』……。思わず一緒にハミングしたくなるような、おなじみの名曲を、MAKOTOさんが柔らかな声で心地よく歌い上げる。「好きな歌ばかり。そして素

直に歌える曲を選びました」。
前作から5年の間に病を得て休業、芸妓「真摯」を卒業、と色々な体験があった。そんな人生の濃密な時期を経て「以前



「Just Sing For You vol.1『My Heart』」(POCS-1585) Amazon他、CDショップで販売中

は音楽にパワフルさも求めたけれど、今は聴いた人に、ほっこりしてもらいたい。今の気持ちは、アルバムに添えられたコピーにあるように「はんなり生きて、そして歌う」なのかも。新たな気持ちで音楽に向き合って、当たり前で日常への喜びを観客とともにしたいという気持ちが歌づくりににもじみ出ている。「今、自分にとって一番大切な思いは『感謝』。『ありがとうの気持ち』は、グランマールのコンセプトでもありますよね。その感謝の気持ちが今、自分の中でもっと視野の広いものになったと思います。番組「Sweet' n marble lovers」でもたびたび「おおきに」と言わせてもらってますけど、歌と一緒に「ありがとうの気持ち」がリスナーの皆さんともシェアできてるな、と感じられるのがうれしい」。

和紗

京都で作った、私の集大成。思い出もひとしおです

「京都に帰ってきて3年。初めて、ありのままの自分を飾らずに素直に言葉にできた、そして歌うことができたアルバムなので、思い出もひとしおです」と、2017年にリリースした新しいミニアルバムを愛おしげに語る和紗さん。今回のアルバムは原点に返った彼女が全曲書き下ろし、セルフプロデュースに挑戦した作品。「人の言葉に左右されることあるけど、自分が信じて進んできたことを、このアルバムを通して学べました」。長年信頼を寄せる地元ミュージシャンとの共作。「京都を“ホーム”に、今までお仕事をしてきた人と再び音楽を作れる



「Will」和紗公式Webサイトで販売中。
<http://kazusa.in/>

巡り合わせに感動しました。過去も現在も大切にしていたら、未来につながってゆくことがわかった。歌うことの根本を思い出して、ライブでは来てくれたお客さんとあったかい雰囲気を作りたい」。

Kazusa Room in YOKOHAMA ~vol.2~
2月10日(土) 18:00会場19:00 開演 / 会場: 横浜LOOP / 前売3500円、当日4000円(共に+1ドリンク600円)

Kazusa Room in KYOTO ~vol.16~
2月17日(土) 18:00会場19:00開演 / 会場: Modern Times / 前売3000円、当日3500円(共に+1ドリンク、1フード)



Profile 京都出身のシンガーソングライター。ピュアでエモーショナルな歌声は「ずっと聴いていたい声」と評される。2009年メジャーデビューし、2014年夏から拠点を京都に移して活躍中。好きなマールデニッシュはショコラ・ショコラとマイルキャラメル。

DJ MEMEさんに聞く、マールデニッシュ「チーズ&ベーコン」に合う音楽って?

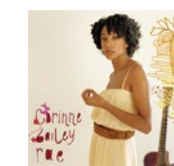
FM-COCOLOのレギュラー「AFTERNOON DELIGHT」と、その中のグランマールがお届けするコーナー「Blooming heart」のDJ MEMEさん。番組でかける音楽は、季節やお天気に合わせて繊細にセレクトしているそう。どんなシチュエーションも素敵にする選曲の達人、MEMEさんに、今号のグランマールプレスの表紙「チーズ & ベーコン」にフィットする音楽を選んでもらったら?「コーヒーと一緒に食べたい、大人のフレイバーです。例えば、イギリスのシンガーソングライター、コリーヌ・ベイリー・レイのブルージーな声がびたり来る気がします」。毎日のランチも、イメージにあう音楽を考えてみたら、より楽しくておいしい。「ハンバーガーならマルコス・パリーの「ノヴァ・ボサノヴァ」、ピストロでのランチならテテの「ル・ブルミエ・クレール・ドゥ・ロープ」はどうか?」。60~80年代の名曲から90年代の音楽、キャリアを積み重ねたアーティストの新曲など、2018年から選曲の幅がさらに多彩に。ご期待ください。



MEME
Profile 神戸出身のDJ。幅広いアンテナでキャッチした上質の音楽で、くつろぎの午後を演出。今号の表紙のマールデニッシュ、チーズ&ベーコンがお気に入り。



FM COCOLO(76.5MHz)
AFTERNOON DELIGHT
●毎週月曜日~木曜日 14:00~17:00
Blooming heart(15:00~15:10)
radikoタイムフリーで、PC、携帯端末から、放送時間外にも番組を聴くことができます。



Corinne Bailey Rae
「Corinne Bailey Rae」